

平成26年度 安曇野市立 明南小学校 グランドデザイン

校長の願い

【「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな児童の育成】
 ○生活習慣の確立と、基礎的・基本的な学力の定着をしていきます。
 ○コミュニケーション活動を重視しながら、「できた、わかったを
 実感できる授業」に努めていきます。
 【誰もが生き生きと活動できる安全な学校づくり】
 ○自分の持てる力を発揮できる場の醸成をしていきます。

教科・道徳・総合的な学習・特別活動等の重点

【平成26年度全校研究テーマ】
 『できた わかったという喜びを感じる授業の創造』
 重点として、一人ひとりが、主体的に思考したり、判断したりして、それを伝え合い、互いの追究を支え合ったり、共に追究を深めたりしながら、自らの課題を解決することで、できた・わかったという喜びを感じる学習指導をします。

【今年度重点として取り組む教科など】
 《国語・算数》(学力向上)「学力向上のためのPDCA サイクルづくり
 支援事業」に参加したり、テスト結果の分析を行ったりして、
 指導法を検討し、基礎学力の定着を図ります。

《特別活動》 集団での話し合いを通して、いろいろな課題を解決しようとする、自主的、実践的な態度を育てます。

《体育》スポーツテストを実施し、持久走や縄跳び等により体力の向上を図ります。

【生活科】【総合的な学習の時間】=明南タイム
 水辺の楽校、森の校庭、保育園、大豆の栽培、ふさぼこの家との交流等、地域とつながる活動を大切に課題解決力を育てます。

【外国語活動・国際理解教育】
 身近な英語に慣れ親しみ、コミュニケーションをする楽しさや喜びを味わえるようにALTの先生と連携して授業を進めます。

【道徳】
 友と語り合う中で道徳的価値を子ども自ら獲得し、実践にうつしていこうとする意識がもてるようにします。

《児童会》
 ・大目標…「心豊かに 笑顔あふれる 太陽のような明南小」
 ・具体目標…「あいさつ」「ろうか歩行」「外で元気に遊ぶ」「そうじ」
 児童会の目標が達成できるように支援していきます。

【人権教育】
 自分を大切に、友だちと自分との違いを認め、互いに支え合い、友だちの気持ちを大切にしながら、自分の気持ちを表現できるようにします。

【特別支援教育】
 個の教育的ニーズを把握し、より良い学習環境を整え、その子のもてる力を高め、可能性の伸ばす支援を行っていきます。

学校教育目標

夢をゆたかに 未来をになう子ども

◇ かしこく ◇ やさしく ◇ たくましく

具体目標

(かしこく) よく聞き、考え、進んで伝えよう
 (やさしく) 自分から、あいさつや温かい言葉をとどけよう
 (たくましく) そうじや運動・あそびで、心と体をきたえよう

PLAN →

DO ↓

保護者・地域の願い

【H25年度保護者アンケートから】
 ・挨拶や返事があたり前にできるようになればと思います。コミュニケーションがもっとできるようになることを望みます。
 ・担任の先生には、学習面だけではなく、生活面でもサポートをしていただき、子ども達一人ひとりが違っていいという教育、自主的に考え物事に取り組む力を大切に考えてくださり大変感謝しています。
 ・日本に生まれたことに幸福感を感じる根っこを、教育を通して教えてあげてほしいです。
 ・保護者と学校また地域との交流が図られたらよいと思います。
 ・地域の豊かな自然や文化から多くのことを学んでほしい。
 【学校評価計画】
 ・保護者アンケート(2学期末)
 ・明科地域教育協議会(年2回)
 ・民生児童委員との懇談(1学期)、授業参観(2学期)

家庭・地域・諸機関との連携

【安全教育】
 ・保護者への引き渡し訓練を行い、災害に備えます。
 ・不審者情報等についてメール配信システムを活用します。
 ・保護者による防犯パトロールと共に、学年毎の集団下校や下校指導を行います。
 ・交通安全教室、避難訓練、防犯教室を実施し、自分の命は自分で守れるように指導します。

【健康教育・食育】
 ・一人ひとりが健康目標を持ち、自分から進んで体にいいことが続けられるような健康づくりを行います。
 ・けがを未然に防ぐための「体づくり」を学校保健委員会、児童会保健委員会と連携して活動を進めます。
 ・児童会給食委員会の活動を通してマナー向上を目指し、保健だより等を通して食育の情報を発信します。

【児童理解・生徒指導】
 ・悩みは一人で抱え込まず、気軽にスクールカウンセラーと相談ができます。
 ・医療・福祉・保健等に関する内容は、専門家からの支援を受けながら進めます。
 ・子どもたちへ、できた・わかったアンケート(年2回)、担任との面談(年3回)を行い、良好な人間関係と楽しい学校生活を送れるように生かします。
 ・「学校いじめ防止基本方針」を基に、児童・職員・保護者・地域の全員で、子どもたちが安心できる学校をつくります。

【その他】
 ・学校・学年・学級便り等を通して、子どもたちの様子や学校の取組を積極的に発信します。
 ・教科ばかりでなく、人権教育や情報教育等の授業公開を行います。日常的な学校公開も行っています。
 ・読書ボランティア、クラブ活動、教科学習等、保護者や地域の方の学習活動への参画を積極的に進めます。
 ・放課後子ども教室「わいわいランド」、放課後学習室、児童クラブへの参加を支援します。
 ・自主学習を取り入れ、家庭学習でも主体的に学ぶ姿勢が身につくように支援します。
 ・保育園や明科三校で連携を図り、子どもたちの教育を進めます。

学校教育目標具現に向けた重点課題【三つの柱】

柱1
できた、わかったを
実感できる授業

○子どもたちが「互いの思いや考えを伝え合い、自らの課題を解決する授業」をめざし、授業改善に取り組みます。
 ○一人一公開授業・授業参観を行い、教師の力量を向上します。「ねらいを明確にする」「めりはりをつける」「達成を見とどける」
 ○チームテイクグ(複数教員)により、児童の実態に応じた指導を行います。

柱2
特色ある
教育課程

○朝の10分間「ことばの時間」を設け、全校で言語力の向上に励みます。「読書」「読み聞かせ」「視写」「音読・暗唱」「漢字練習」
 ○水辺の楽校・五ヶ用水・明科水産試験場等の地域を生かした体験学習、保育園・大豆作り・ふさぼこの家等地域の人たちとの交流活動を進めます。
 ○全校運動等で「こ・て・い・の・う・の・う・の」運動や相撲等多様な運動経験しながら体づくりに励みます。

柱3
自ら築く
楽しい活動

○子どもたちの自主的主体的な取組を応援します。「おはよう隊」「明南まつり」「仲良し集会」「友達タイム」「プチ運動会」「仲良し給食・読書」
 ○あおぞらキッズ(全校異年齢集団)で運動遊び等をして、全校が仲良くなります。
 ○学級活動、クラブ活動、課外活動の金管バンド部・陸上競技部等で、一人ひとりのやる気や能力を伸ばします。

各学年の目標・重点

【1年】 話す人を見て、最後まで聞く。進んであいさつをしよう。ふわふわ言葉を使おう。外でいっぱい遊ぼう。
 【2年】 相手を見て、話を聞きます。話します。やさしい言葉を使います。みんなと外で遊びます。
 【3年】 友の話を聞き、考えを進んで話します。友の思いを聴き、温かい言葉を使います。清掃を精一杯やります。
 【4年】 よく聞き、進んで話します。友達を思いやり仲良く生活します。いろいろなことに精一杯取り組みます。
 【5年】 自分の考えや思いを伝えます。明るい声で誰にでもあいさつをします。思いやりをもって仲良く楽しく元気に生活します。
 【6年】 自分の考えをもち、伝え合います。気持ち良い挨拶をし、誰にでも優しく振舞います。何事も諦めず、元気に活動します。
 【あやめ】 最後まであきらめない気持ち。自分も友だちも大切に。明るく元気に挨拶をしよう。
 【たんぼぼ】 気持ちを言葉で伝えます。友だちと仲良く生活します。新しいことや苦手なことにも挑戦します。

↑ ACTION

← CHECK

